

セメンテックス QQ-500FM 施工要領

1. 下地処理

施工面の不純物・脆弱部を除去すると共に表面の塵埃、レイタンス等をサンダー及び高圧水洗浄で除去して下さい。

2. 材料の混練り

・配合内訳

品名	構成材料	基本配合	材料使用量	施工可能面積
セメンテックス QQ-500FM	混和液 C-500H	1.8kg	1,150kg/m ² ※1	0.2m ² /袋 (40mm厚)
	B材(パウダー)	10kg		
	調整水量	1.7~2.2kg		

※1 調整水量は含まれていません。

- ・はじめに混練用容器(バール缶など)を用意し、混和液 C-500H を規定量1.8kg と調整水1.7kgを投入して下さい。
- ・次にB材(パウダー)を少しずつ加えながら、ダマができないようにハンドミキサーで丁寧に練り上げて下さい。
- ・規定量内の残りの調整水で作業目的に応じた粘度に調整して、ご使用下さい。

※混和液 C-500H とB材(パウダー)の投入順序を逆にするとダマになり易いばかりでなく、瞬結して混練不能となり、使用できなくなる場合があります。
※2~3分混練りすることで柔らかくなりますので、調整水の入れ過ぎにならないように注意して下さい。
※柔らかくなり過ぎると、極端に硬化が遅くなる場合があります。規定量以上の調整水を追加しないで下さい。

- ・可使時間(15~20分)を過ぎると急激にこわばり始めます。可使時間内に使用できる量を混練して下さい。

3. 塗り付け作業

- ①下地施工面を適度に水湿して、湿潤状態にしてから塗り付けを行って下さい。吸水の激しい下地には、ファインコートPをご使用ください。また、ハツリ部等の断面補修の場合、カチオンベース QQ-0 をご使用いただくと、次作業が容易になります。
- ②下地に良くなじむようにセメンテックス QQ-500FMを十分にこすり付けて下さい。
- ③1回あたりの塗り厚は、側壁面で30mm、天井面で15mm程度を限度として下さい。
- ④施工後は、直射日光などによる急激な乾燥を避けるよう注意して下さい。また、厳寒期には凍結対策として防寒養生を行って下さい。

4. 使用上の注意事項

- ・超速硬セメントを使用していますので、入手後はできるだけ早くご使用下さい。
- ・保管する際は、吸湿・風化を避けるため、ビニールシートなどで覆い、湿気を遮断して下さい。
- ・乾くと白い斑点が発生することがありますが、モルタルの性能・品質には何ら問題ありません。
- ・普通ポルトランドセメントなど、他のセメントやモルタルとは絶対に混ぜないで下さい。

※本商品の安全取り扱い上の詳しい注意事項が必要なときは、安全データシート(SDS)をご請求下さい。

※製品改良のため予告なしに仕様等を変更する場合があります。予めご了承下さい。